

中国経済展望

2011年5月



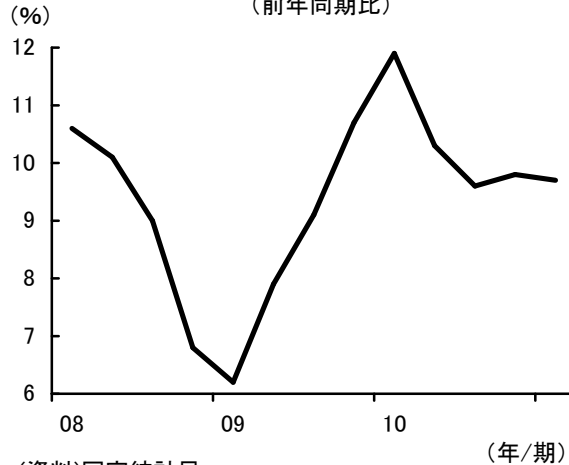
調査部 環太平洋戦略研究センター

<http://www.jri.co.jp/thinktank/research/>

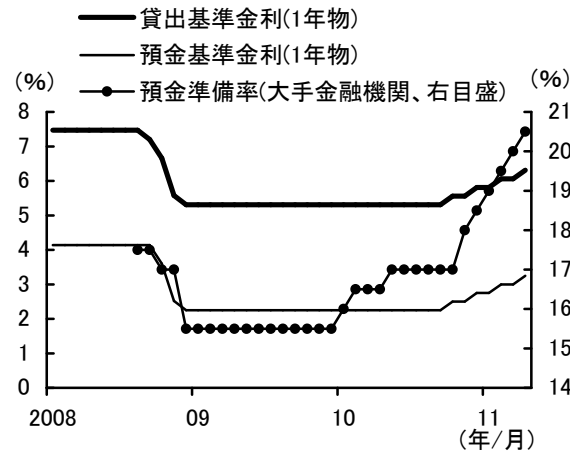
- ◆本資料は2011年4月26日時点で利用可能な情報をもとに作成
- ◆本資料に関するご照会先
環太平洋戦略研究センター 関辰一 (Tel: 03-3288-4533)

中国経済概説（2011年5月）

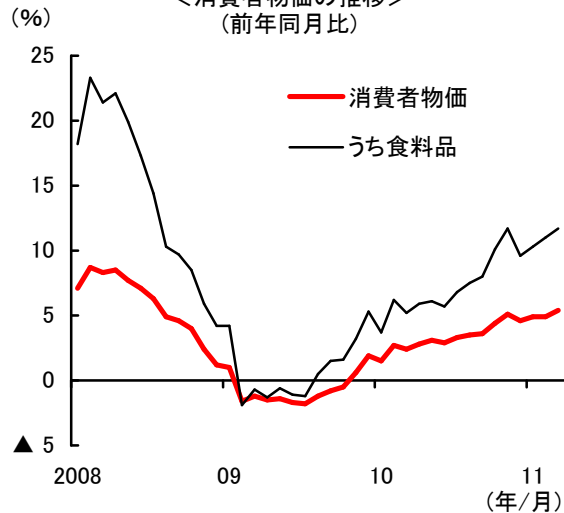
＜実質GDP成長率の推移＞
（前年同期比）



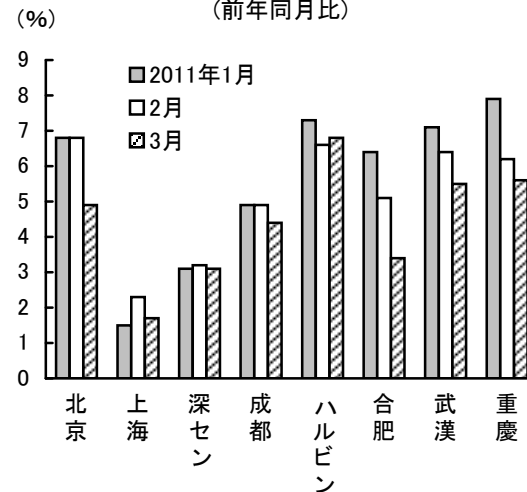
＜金利、預金準備率の推移＞



＜消費者物価の推移＞
（前年同月比）



＜住宅販売価格上昇率＞
（前年同月比）



1. 景気の現状

(1) 景気は拡大傾向

景気は、内需の拡大と外需の持ち直しにより拡大傾向にあるものの、テンポがやや緩やかになった。1～3月期の実質GDP成長率は前年同期比9.7%と、2010年10～12月期から0.1ポイント低下(2011年から季節調整済み前期比を公表、1～3月期は2.1%増と2010年10～12月期の2.4%増を下回った)。

(2) 主要経済指標の動き

- ① 内需については、固定資産投資は旺盛な国内需要と潤沢な資金供給を背景に、多くの業種で堅調な拡大が続いている。一方、利上げや不動産価格抑制策を受けて、新設住宅着工面積の伸びは低下。小売売上高は2ケタの伸びを維持。
- ② 外需は高水準を維持。輸出は先進国の景気回復に加え、新興国の高い経済成長により堅調に拡大。
- ③ 内外需の好調を背景に、工業生産の伸び率は上昇。3月の工業生産は前年同月比14.8%の伸び。伸び率は1～2月に比べて0.7ポイント上昇。
- ④ 3月の消費者物価上昇率は前年同月比5.4%。a)名目賃金の上昇、b)潤沢な資金供給、c)天候不順、d)輸入価格の上昇が物価高をもたらす。3月の北京の住宅販売価格は前年同月比4.9%の上昇。上海は同1.7%の上昇。

2. 最近の経済政策

(1) 金利・預金準備率の引き上げ(4/5、4/17公表)

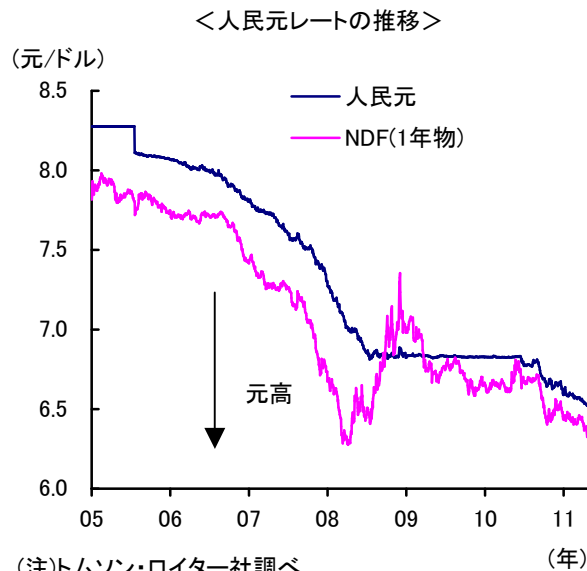
人民銀行は4月5日に預金・貸出基準金利の引き上げを発表。1年物の預金基準金利は3.00%から3.25%に0.25ポイント引き上げ。同貸出基準金利も0.25%引き上げ。同月6日より実施。利上げは2010年10月から1カ月おきに合計4回実施。同月17日に預金準備率の0.5ポイントの引き上げを発表。同月21日から実施。

(2) 値上げ制限令の発表

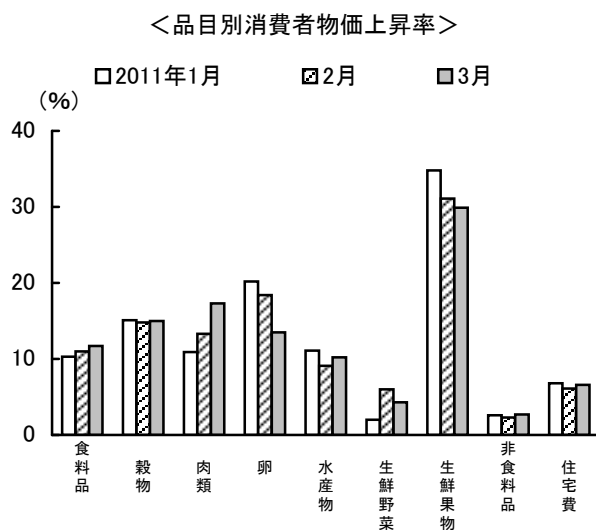
政府は企業に値上げの自粛を要請。食品製造業や日用品製造業、小売業などが対象。大手中国企業や外資企業のうち一部はこれに従い4月の値上げを回避。



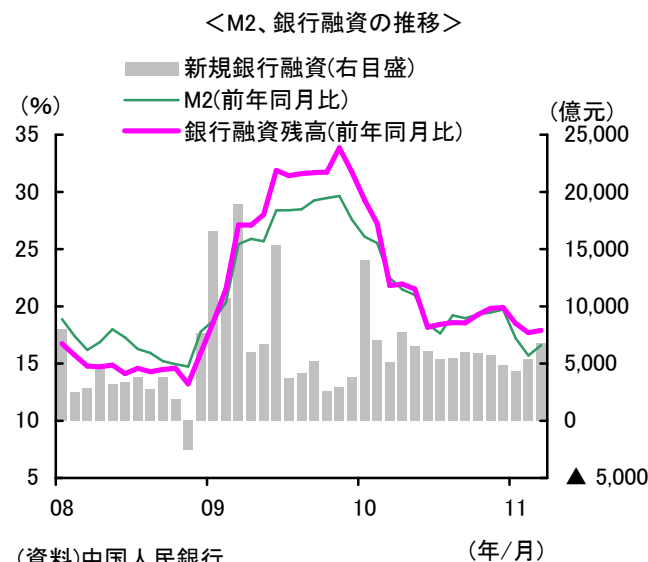
(資料)上海証券取引所



(注)トムソン・ロイター社調べ。
(資料)Datastream



(資料)国家統計局



(資料)中国人民銀行

3. 株価・為替レートの動き

(1) 上海総合株価指数

- ① 4月25日の上海総合株価指数(終値)は2,965ポイントと3月末から1.3%の上昇。
- ② 清明節明け直後は2カ月ぶりに基準金利が引き上げられたものの、政府の1,000万戸にのぼる公共住宅建設計画を好感し、鉄鋼・セメント関連銘柄を中心に上昇。中旬は15日に発表されたGDP・消費者物価上昇率が市場の想定範囲内であったため、横ばいで推移。17日に預金準備率が引き上げられ、株価は下落に転じた。水準は2010年10月と同等。

(2) 対米ドルレート

- ① 4月25日時点で、1米ドル＝6.528元。3月末に対して0.3%人民元高の水準。
- ② 人民元高はa)対外購買力の向上、b)元売り・ドル買い介入の抑制により、インフレの緩和に機能。3月の消費者物価上昇率が前年同月比5.4%と一段と上昇するなか、元高によるインフレ抑制作用が期待される。

4. 物価・金融

(1) 品目別消費者物価

- ① 3月の食料品価格は前年同月比11.7%と大幅に上昇。うちわけをみると、穀物(同15.0%)、肉類(同17.3%)、卵(同13.5%)、水産物(同10.2%)、生鮮野菜(同4.3%)、生鮮果物(同29.9%)といずれも大幅に上昇。
- ② 非食料品価格は同2.7%上昇。建設材料費や家賃、光熱・水道費を含む住宅費は同6.6%と大幅に上昇。

(2) 工業生産者出荷価格

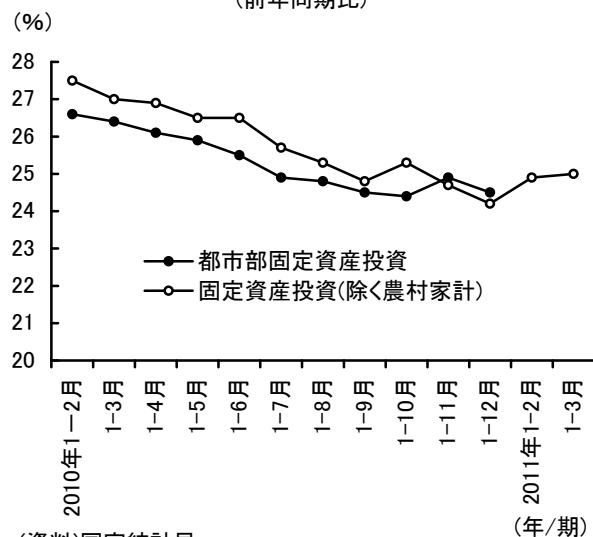
- 3月の工業生産者出荷価格は前年同月比7.3%高と、2月の同7.2%高を上回った。

(3) M2・銀行融資残高

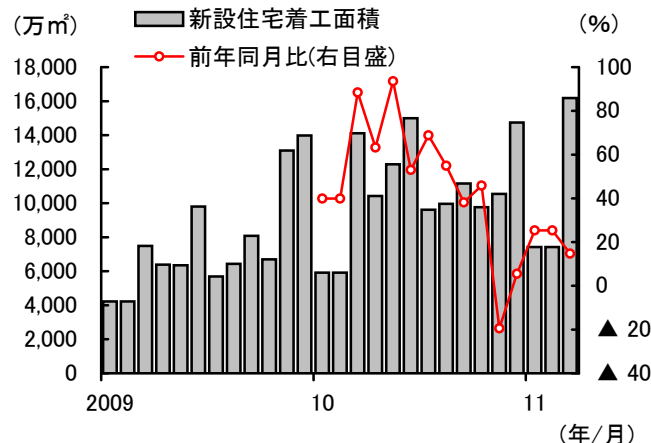
- 3月のM2は前年同月比16.6%増と2月の伸びを0.9ポイント上回った。3月の新規銀行融資は6,794億元と2月を上回る規模。市場への資金供給は潤沢。

◆ 需要項目別：固定資産投資、個人消費

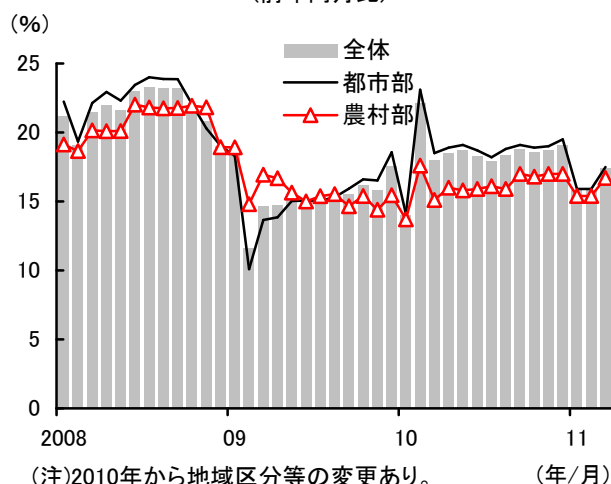
＜固定資産投資の推移＞
(前年同期比)



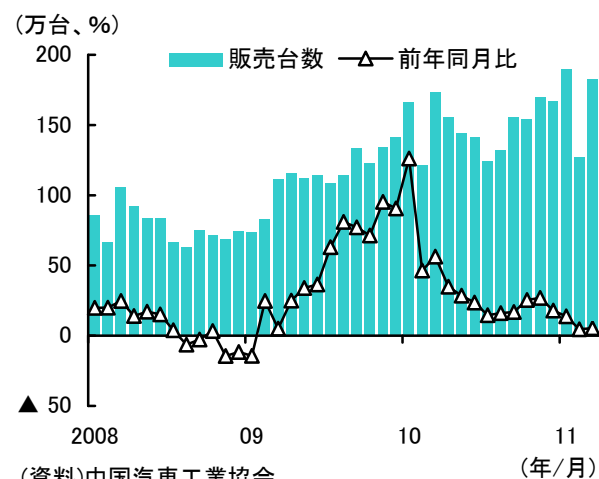
＜新設住宅着工面積の推移＞



＜小売売上高の推移＞
(前年同月比)



＜自動車販売台数の推移＞



【固定資産投資】

(1) 固定資産投資(除く農村家計)

- ① 2011年1～3月期の固定資産投資(除く農村家計)は前年同期比25.0%増の3兆9,465億円(2011年3月から季節調整済み前月比を公表、3月は1.7%増)。
- ② 潤沢な資金供給と旺盛な国内需要により、大半の業種で堅調な拡大傾向が続いている。とりわけ、電気機械と通信・コンピュータ・その他機械は1～3月期にそれぞれ前年同期比62.0%増、54.1%増と大幅に拡大。

(2) 新設住宅着工面積

- ① 3月の新設住宅着工面積は前年同月比14.7%増。伸び率は1～2月の同25.4%から低下。利上げや一連の不動産価格抑制策により、住宅市場の過熱感がやや緩和。

【個人消費】

(1) 小売売上高

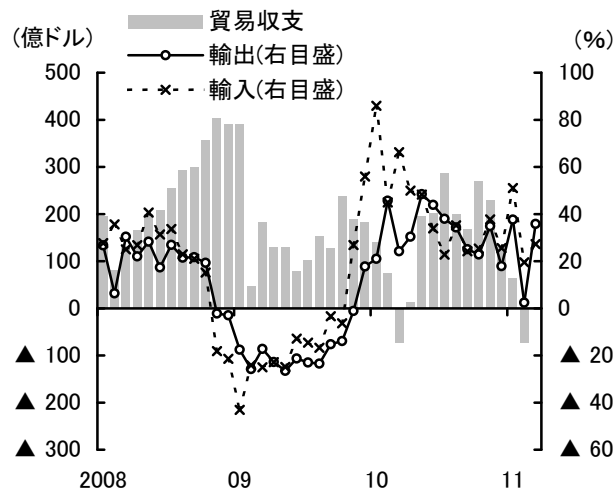
- ① 3月の小売売上高は前年同月比17.4%増((2011年3月から季節調整済み前期比を公表、3月は1.3%増)。
- ② 地域別にみると、都市部は同17.5%増、農村部は同16.7%増と伸びが上昇。物価上昇により消費者マインドが悪化したものの、所得水準の上昇により2ケタの伸びを維持。1～3月期の都市部名目可処分所得は前年同期比12.3%の増加。農村部現金収入は同20.6%の増加。
- ③ 2011年以降、国家統計局は一定規模を上回る企業の小売売上高を発表。a)年間売上高2,000万元以上の卸売企業、b)年間売上高500万元以上の小売企業、c)年間売上高200万元以上の飲食・宿泊企業が統計の対象。
- ④ 一定規模以上企業の小売売上高(全体の44%)は3月に前年同月比25.3%増。貴金属類同51.8%増、石油製品同37.6%増と高い伸び。

(2) 自動車販売

- 3月の販売台数は前年同月比5.4%増の183万台。伸び率は低いものの、月次ベースで過去2番目の販売台数。

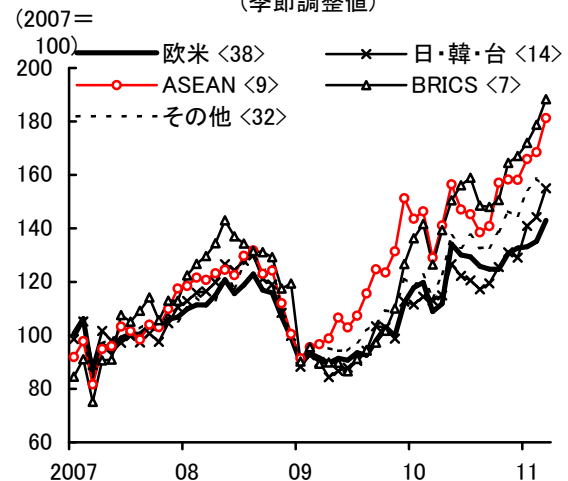
◆ 需要項目別：輸出入、対中直接投資

＜輸出入の伸び率(前年同月比)と貿易収支の推移＞



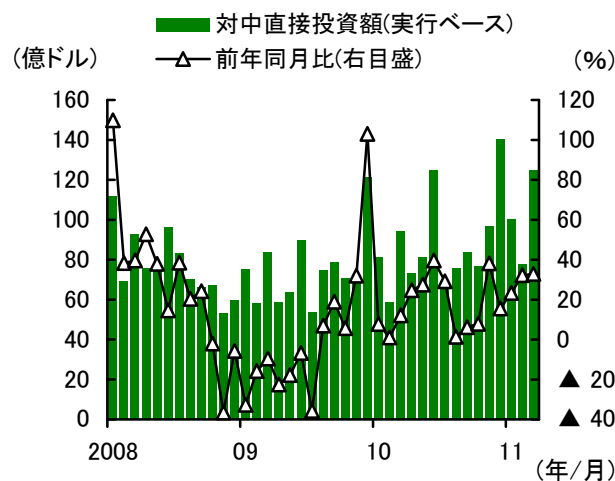
(資料)海関総署

＜中国の地域別輸出額の推移＞
(季節調整値)



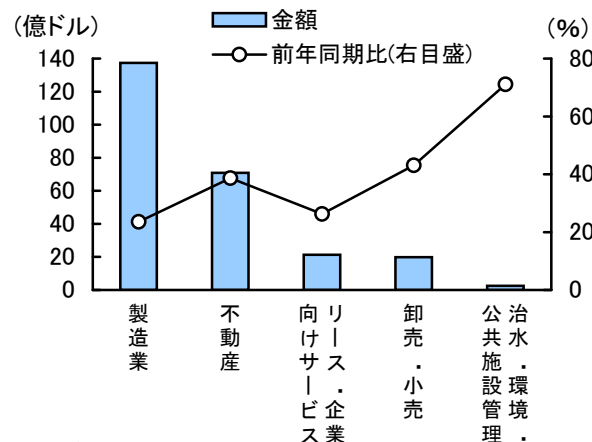
(注)<>は2010年のシェア。
(資料)海関総署をもとに作成

＜対中直接投資額の推移＞



(注)銀行、証券、保険への直接投資は含まず。
(資料)商務部

＜業種別外資導入額＞
(2011年1～3月)



(資料)国家統計局

【輸出・輸入】

(1) 輸出

- ① 3月の輸出は前年同月比35.8%増。伸び率は1～2月の21.3%を上回った。
- ② 国・地域別にみると、米国向けは1～2月に前年同期比16.8%増に続き、3月に前年同月比29.9%増と増加幅は拡大。EU向けも1～2月に前年同期比9.5%増、3月に前年同月比32.8%増。欧米の景気回復により、欧米向け輸出は緩やかに拡大。
- ③ 一方、ブラジル向けは1～2月に前年同期比34.5%増、3月に46.4%増といずれも欧米向けを上回る伸び。ロシア向けもそれぞれ37.3%増、63.7%増と高い伸び。新興国の高い経済成長を背景に、BRICSなど新興国向けはハイペースで拡大。

(2) 輸入

- ① 3月の輸入は前年同月比27.3%増。伸び率は1～2月の前年同期比36.6%増を下回った。
- ② 国・地域別にみると、3月の日本からの輸入(最大の輸入相手)は東日本大震災の影響を受けて、同16.6%増と1～2月の33.4%増から増加幅が縮小。
- ③ オーストラリアからは同32.2%増、南アフリカからは168.4%増と大幅に拡大。旺盛な国内需要と資源価格の上昇が背景。

(3) 貿易収支

3月の貿易黒字は1億ドル。貿易黒字は2カ月ぶり。

【対中直接投資】

(1) 概況

3月の対中直接投資は前年同月比32.8%増。伸び率は1～2月の同27.1%増を上回った。

(2) 業種別投資額(2011年1～3月)

大半の業種において前年同期を上回る規模で推移。とりわけ、非製造業の伸びが顕著。

トピックス

変わる中国の輸出構造



＜地域別輸出額の寄与度分解＞

	2005年 億ドル	2010年 億ドル	伸び率 %	寄与度 %
世界	7,623	15,784	107.1	107.1
OECD加盟国	4,320	8,106	87.7	49.7
OECD非加盟国	3,304	7,679	132.4	57.4
BRICS	308	1,058	243.5	9.8

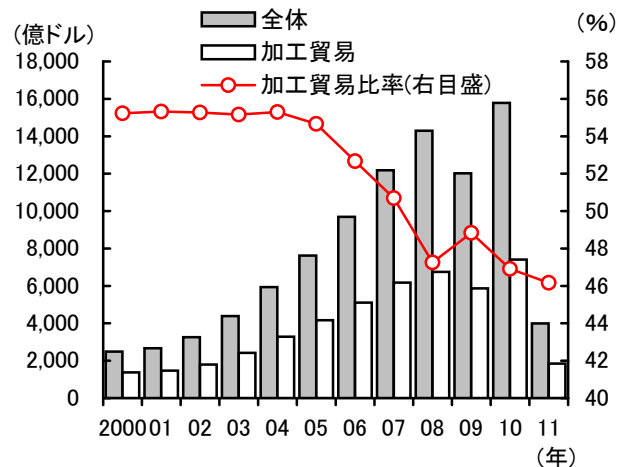
(資料)海関総署をもとに作成

＜品目別輸出割合＞
(2010年)

	ブラジル向け (%)	世界向け (%)
繊維・玩具類	14.1	21.0
電気機械	23.4	24.6
産業用機械	28.0	23.2
輸送機械	5.2	5.6
その他	29.3	25.6
全品目	100.0	100.0

(資料)海関総署をもとに作成

＜方式別輸出額の推移＞



中国の輸出は国内付加価値が低い先進国向け加工貿易中心から、新興国向け・高付加価値製品中心の構造へシフトしつつある。

(1) 堅調に拡大する輸出

- ① 中国の輸出は堅調に拡大している。輸出額は2009年初を底に回復。足元も堅調な拡大傾向を維持。
- ② 水準でみると、輸出額は2010年半ばに金融危機前を上回り、2011年3月時点ではそれまでのピークであった2008年8月の1.2倍の水準に。

(2) 牽引役は新興国向け

- ① 新興国の高い経済成長を背景に、OECD非加盟国向け輸出額は2005年から2010年にかけて132.4%増加。
- ② このような大幅な増加により、新興国向け輸出が先進国向け輸出に代わって中国の輸出の中心になりつつある。同期間における中国の輸出は107.1%増であったが、OECD非加盟国向けの寄与度はOECD加盟国向けを上回る57.4%。

- ③ とりわけ、BRICS向けの拡大が顕著である。BRICSの急成長により、BRICS向け輸出は同期間において243.5%増に。

(3) 主要品目は産業機械

- ① 新興国向け輸出の特徴は、工作機械や建設機械など産業機械のシェアが大きい点。
- ② たとえば、2010年のブラジル向けに占める産業機械のシェアは全体の23.2%を上回る28.0%。

(4) 進む中国輸出産業の高付加価値化

- ① こうした動きは、中国の輸出産業が高付加価値化を進めていることを示唆する。従来、中国の輸出は国内付加価値が低い先進国向け加工貿易が主。
- ② 近年、加工貿易のシェアは低下傾向。代わって、部品の国内調達拡大、製造技術の高度化などを通じて高付加価値製品の競争力を高め、新興国市場での足場を急拡大。

		国民所得		生産・物価・労働			国際収支								金融・資本市場			
		名目GDP	実質GDP 成長率	工業生産 付加価値	消費者物 価指数	失業率	輸出		輸入		貿易収支	経常収支	対中直接 投資	外貨準備	為替レート	M2(期末)	銀行間貸 出金利	上海総合 株価指数
		億元	%	%	%	%	100万ドル	前年比 %	100万ドル	前年比 %	100万ドル	100万ドル	100万ドル	100万ドル	RMB/US\$	%	% (90日)	(期末値)
2008年		314,045	9.6		5.9	4.2	1,430,694	17.4	1,132,567	18.5	298,127	436,107	92,400	1,946,030	6.9480	17.8	4.30	1,821
2009年		340,903	9.2		-0.7	4.3	1,201,610	-16.0	1,005,922	-11.2	195,688	297,142	90,030	2,399,152	6.8310	27.6	1.73	3,277
2010年		397,983	10.3		3.3	4.1	1,577,978	31.3	1,394,501	38.6	183,477	331,000	105,735	2,847,338	6.7704	19.7	2.66	2,808
09年	4～6月	148,081	7.9		-1.1	4.3	276,080	-23.5	242,159	-20.2	33,921		21,232	2,131,606	6.8296	28.4	1.47	2,959
	7～9月	231,139	9.1		-1.1	4.3	324,919	-20.6	286,593	-11.6	38,326		20,757	2,272,595	6.8310	29.3	1.88	2,779
	10～12月	340,507	10.7		-0.7	4.3	355,041	0.1	293,888	22.7	61,153		26,268	2,399,152	6.8273	27.6	1.84	3,277
10年	1～3月	81,622	11.9		2.2	4.2	316,040	28.7	302,022	64.8	14,018	53,600	23,443	2,447,083	6.8269	22.5	2.03	3,109
	4～6月	172,840	10.3		2.6	4.2	388,869	40.9	347,806	43.6	41,063	72,900	27,987	2,454,274	6.8234	18.5	2.52	2,398
	7～9月	268,660	9.6		2.9	4.1	429,648	32.2	364,288	27.1	65,360	102,300	22,910	2,648,303	6.7713	19.0	2.60	2,656
	10～12月	397,983	9.8		3.3	4.1	443,421	24.9	380,385	29.4	63,036	102,200	31,395	2,847,338	6.6602	19.7	3.50	2,808
11年	1～3月	96,311	9.7	14.4	5.0	4.1	399,669	26.5	400,397	32.6	-728		30,340	3,044,674	6.5840	16.6	4.66	2,928
09年	4月				-1.5		91,923	-22.8	78,983	-22.9	12,940		5,892	2,008,879	6.8312	25.9	1.65	2,478
	5月				-1.4		88,699	-26.5	75,665	-24.9	13,034		6,379	2,089,490	6.8245	25.7	1.38	2,633
	6月				-1.7		95,458	-21.3	87,511	-12.9	7,947		8,961	2,131,606	6.8332	28.4	1.38	2,959
	7月				-1.8		105,391	-23.0	95,151	-14.6	10,240		5,359	2,174,617	6.8320	28.4	1.86	3,412
	8月				-1.2		103,663	-23.4	88,243	-16.8	15,420		7,499	2,210,826	6.8322	28.5	1.80	2,668
	9月				-0.8		115,865	-15.3	103,199	-3.4	12,666		7,899	2,272,595	6.8289	29.3	1.97	2,779
	10月				-0.5		110,642	-13.9	86,848	-6.4	23,794		7,105	2,328,272	6.8275	29.5	1.84	2,996
	11月				0.6		113,659	-1.2	94,691	26.8	18,968		7,023	2,388,788	6.8274	29.6	1.82	3,195
	12月				1.9		130,740	17.7	112,349	55.9	18,391		12,140	2,399,152	6.8271	27.6	1.86	3,277
10年	1月				1.5		109,495	21.0	95,513	85.9	13,982		8,129	2,415,221	6.8273	26.1	2.04	2,989
	2月				2.7		94,477	45.6	87,053	44.9	7,424		5,895	2,424,590	6.8270	25.5	2.01	3,052
	3月			19.0	2.4		112,068	24.2	119,456	66.3	-7,388		9,419	2,447,083	6.8264	22.5	2.05	3,109
	4月			18.6	2.8		119,854	30.4	118,429	49.9	1,425		7,346	2,490,511	6.8262	21.5	2.00	2,871
	5月			17.2	3.1		131,672	48.4	112,191	48.3	19,481		8,132	2,439,505	6.8274	21.0	2.06	2,592
	6月			14.4	2.9		137,343	43.9	117,186	33.9	20,157		12,509	2,454,274	6.8165	18.5	3.50	2,398
	7月			14.0	3.3		145,442	38.0	116,820	22.8	28,622		6,924	2,538,893	6.7775	17.6	2.65	2,638
	8月			14.4	3.5		139,254	34.3	119,301	35.2	19,953		7,602	2,547,837	6.7901	19.2	2.49	2,639
	9月			14.1	3.6		144,952	25.1	128,167	24.2	16,785		8,384	2,648,303	6.7462	19.0	2.65	2,656
	10月			13.8	4.4		135,963	22.9	108,880	25.4	27,083		7,663	2,760,899	6.6732	19.3	2.81	2,979
	11月			13.8	5.1		153,309	34.9	130,436	37.7	22,873		9,704	2,767,809	6.6558	19.5	3.22	2,820
	12月			14.0	4.6		154,149	17.9	141,069	25.6	13,080		14,028	2,847,338	6.6515	19.7	4.48	2,808
11年	1月			14.1	4.9		150,734	37.7	144,273	51.0	6,461		10,028	2,931,674	6.6027	17.2	4.84	2,791
	2月			14.1	4.9		96,736	2.4	104,064	19.4	-7,328		7,795	2,991,386	6.5831	15.7	4.84	2,905
	3月			14.8	5.4		152,199	35.8	152,060	27.3	139		12,517	3,044,674	6.5662	16.6	4.31	2,928

(注) ①名目GDP総額と消費者物価指数の四半期ベースは、1～3月期、1～6月期、1～9月期、1～12月期の数値。

②失業率と銀行間貸出金利以外の%は、前年同期比、前年同月比の伸び率。

③直接投資額は銀行・証券・保険業界への投資を除く。

④2011年以降、工業生産付加価値統計の対象が売上高500万元以上の企業から2,000万元以上の企業に変更。

(資料)中国国家统计局、中国海関統計、中国人民銀行統計季報、中国経済景気月報他をもとに作成。